

## 社会保障削減に固執

保団連 骨太の方針に抗議

全国保険医団体連合会(保団連)は19日、岸田文雄政権が16日に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針」(骨太の方針)に抗議する談話を住江憲勇会長名で発表しました。軍拡に突き進む一方で社会保障削減に固執していると批判しています。

談話は同方針について、軍事費倍増や少子化対策などを口実に「医療・社会保障の抑制・削減を押し進める方針だ」と指摘。

辺国との際限なき軍拡競争をもたらし、格差を広げ社会不安をまん延させる政治に未来はない」と訴えています。医療・社会保障については、「75歳以上の

窓口負担2割導入で高齢者に大幅な負担増を強いる一方、現役世代の保険料負担軽減が皆無に等しい」と批判。物価高騰の中で医療・介護分野の賃上げが他分野に比べて遅れているとし、「報酬などの抜本的な引き上げを明記すべきだ」と強調しています。